

三菱ふそう
エアロミティ

MK2.6

'94MODEL

オートマチックトランスミッション

整備解説書



三菱自動車

三菱ふそう

エアロミディ

整備解説書

オートマチックトランスミッション

まえがき

この整備解説書はオートマチックトランスミッションの整備にあられる皆さまのために、調整要領及び整備作業要領を記載してあります。

正しい整備、無駄のない迅速な整備を行うため、本書を十分ご活用されますようお願いいたします。

本書の他に次の整備解説書がありますので併せてご活用ください。

「エアロミディ 整備解説書」(コードNo.)

- 6D1 型エンジン..... (2037908E)
- シャシー..... (2033418C)
- エレクトリカルシステム..... (2033420C)
- パワータード..... (2037909E)
- ABS/ASR (2033419C)

ご不明な点につきましては、最寄りの三菱ふそう販売会社にお問い合わせください。

本書に記載してあります諸元及び整備数値などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

1994年6月

電子コントロールユニット(ECU)の取扱い注意!
このシステムにはECUが使われています。

取扱いや整備するときには次の点に注意してください。

1. 雨水や洗車時等の水が直接 ECU にかからないようにしてください。万一、水がかかったときには速やかにふき取ってください。
2. ふたをみだりに取外したり、塗装しないでください。
3. ECU を車両から取外す場合は、まずバッテリーの⊖端子(アース端子)を外した後コネクターを取外してください。取付けるときはこの逆に行ってください。
4. 車両各部の補修のためアーク溶接を行うときはバッテリー⊖端子及び ECU のコネクターを外してから行ってください。なお、溶接機のアースはできるだけ溶接部に近いところでとってください。

目 次

本書の見方	2
• 記載内容の説明	2
• 用語, 単位	7
• 略 語	7
• 整備作業時の注意事項	9
• 標準締付けトルク表	16
• コネクター表示一覧	18
諸 元	23
構造・作動	25
トラブルシューティングの進め方	36
ダイアグコードごとの点検	41
症状ごとの点検	76
一過性不具合の点検	81
ECU コネクター部での簡易点検	82
車上での点検, 調整	87
• ストールテスト	87
• ライン圧テスト	89
• ATF の点検	91
• ロードテスト	92
• ATF の交換	93
A/T Assy の脱着	96
オイルクーラー	100
A/T コントロール	102
A/T 本体各部の交換	104
電気配線図	

本書の見方

記載内容の説明

- **諸 元**

整備に関する内容について記載している。

- **構造, 作動**

主な装置についてその構造及び作動について記載している。

- **トラブルシューティング**

故障の症状と要因を対比して記載している。

- **車上で点検, 調整**

車載状態で行う点検, 調整を記載している。

例：ストールテスト

：ATFの交換

- **整備要領**

原則として見開きページで整備要領が理解できるように説明し, 補足説明として整備の要点を記載している。

- **回路図**

各システムごとの回路を記載している。

- **部品配置図**

回路図に記載されている部品, コネクタ及びハーネスの配置を図示している。

本書の体裁について

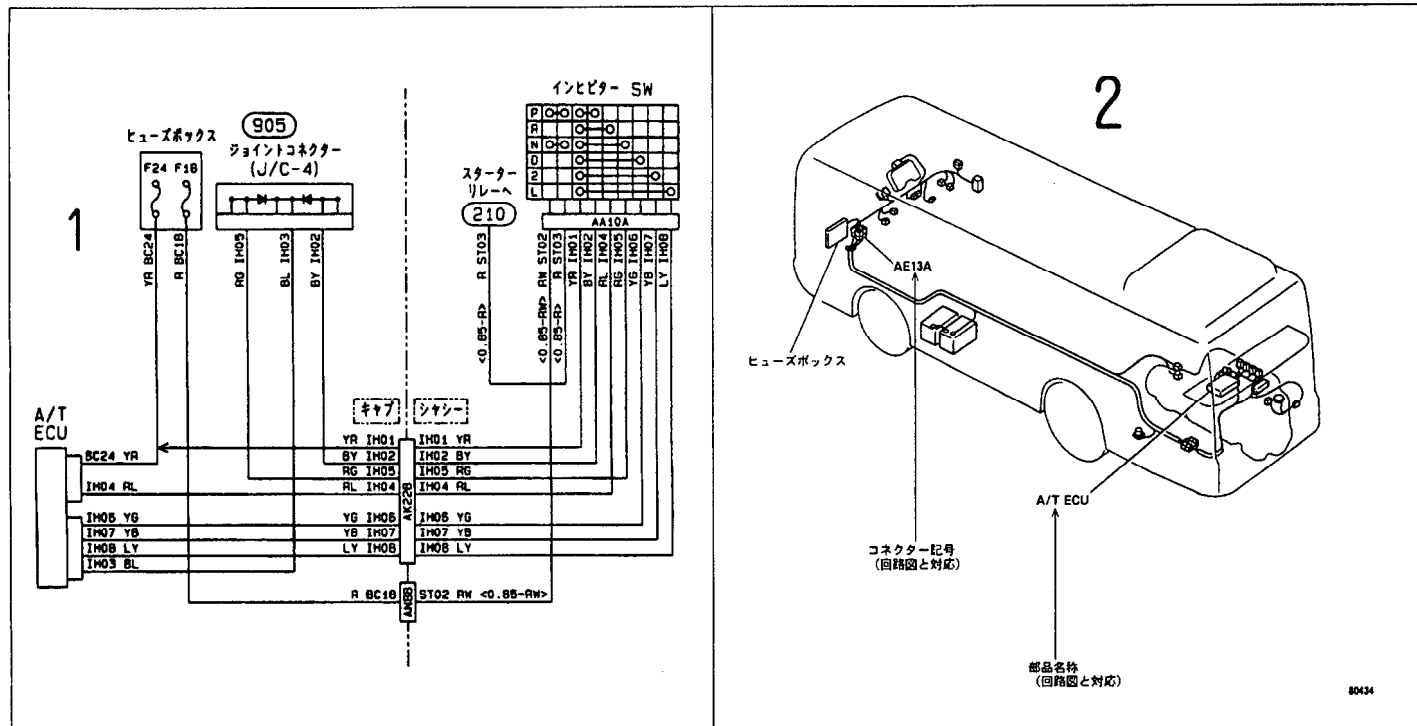


図 3

(FE)

●取外し順
1 ボルト
2 ボルト
3 ダストカバー
4 ボルト (8本)
5 ボルト
6 ボルト
7 ボルト (4本)
8 ドライブプレート
9 A/T Assy

A: トルコン
B: フライホイール
C: パイロット部

●取付け順
取外しの逆順で行う。

注意
A/T Assyの取外しの際ドライブプレートはトルコンAについた状態で行う。

整備基準 単位: mm

部位	品 名	取 付 所	基準値 (注は基本値)	限度	公差
1	ボルト (A/T Assy取付けダストカバー用)		4.8kgm	-	-
2	ボルト (ダストカバー取付け)		1.0kgm	-	-
4	ボルト (フライホイールとドライブプレート結合)		8.3kgm	-	-
5	ボルト (リヤマウント)		8.5~11kgm	-	-
6	ボルト (A/T Assy取付け)		8.6kgm	-	M12
7	ボルト (プレート取付け)		4.8kgm	-	M10
8	ボルト (ドライブプレート取付け)		8.1~11.2kgm	-	-

給油脂及びシール剤使用個所 Δ

部位	個 所	油 種	シ ー ル 剤	油 量
9	A/T Assy内トルコンAのパイロット部Cに塗布	モリコートBR12プラス	-	-

特殊工具 単位: mm

部位	工 具 名 称 及 び 形 状	部品番号	用 途
9	クランクハンド 6	M1061209	エンジンのクランク

●整備の要点

1 A/T Assy
[取外し]
●ダストカバー3を取外す。

●クランクハンドルをエンジンのクランクシャフトプリー取付けネットへ掛けてクランクし、作業時にボルト4がはくするようにする。
●1箇所より必ず4箇所で行ってボルト4をクランクしなから順次取外す。

- 1.....回路図
- 2.....部品名称, コネクター及びハーネスの配置図
- 3.....分解, 組立て図: 装置の分解立体図を示す。
3a...部品名称は分解順の一例を示す。
- 4.....整備基準, 締付けトルクを部位ごとにまとめて記載している。
- 5.....給油脂及びシール剤使用個所を部位ごとにまとめて記載している。
- 6.....使用する特殊工具をまとめて記載している。
- 7.....1~6までの説明では, 整備要領が理解しにくいときに補足説明で整備の要点を記載している。
(3~7についての詳細説明はエンジン編, シャシー編整備解説書と同様なので説明を省略する)